

岩手県感染症週報

平成17年第15週（4月11日～4月17日）

岩手県結核 感染症情報センター

第15週の概要

- | | | |
|--------|---------------------|--------------------|
| 1 類感染症 | } 患者発生の報告はありませんでした。 | 4 類感染症 |
| 2 類感染症 | | 5 類感染症（全数把握対象疾患） |
| 3 類感染症 | | ・患者発生の報告はありませんでした。 |

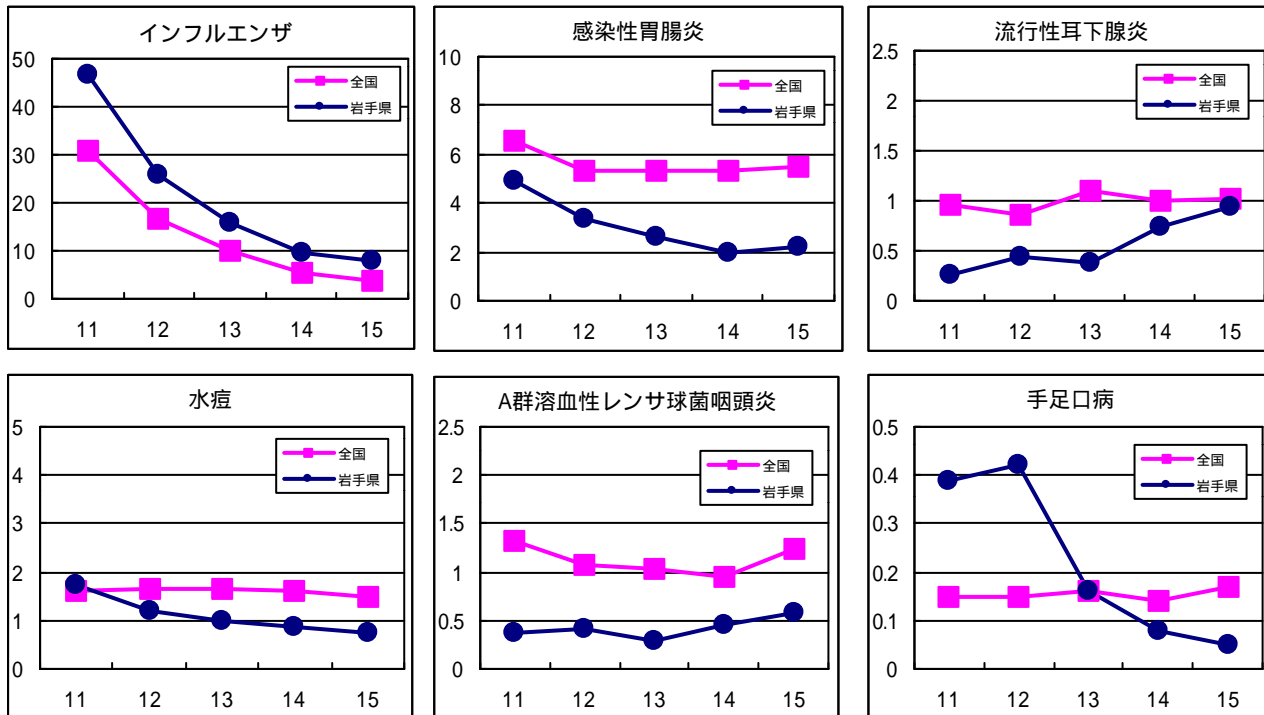
5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、前週まで順調に減少を続けてきましたが、新学期が始まったこの週には県内3地区で前週より増加しています。この週に増加した地区は一関、宮古、久慈地区で、特に久慈地区では定点当たり患者数が31.7人と再び警報値（同患者数30.0人）を超えました。盛岡、宮古地区では施設閉鎖措置をとった学校もあり、まだ注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎は、前週に警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えていた久慈地区でやや減少しましたが、この週には北上地区で増加し警報値を超えました。同地区では、昨年10月から今年1月にかけて地域的な流行がありましたが、2月頃からは沈静化していました。患者は3～6歳の年齢層がもっとも多くなっています。

流行性耳下腺炎は、患者との接触やせきなどの飛沫により感染し、2～3週間の潜伏期間を経て発症します。通常1～2週間で軽快しますが、ときに無菌性髄膜炎を併発することがあり、また、思春期以降に感染すると男性では睾丸炎、女性では卵巣炎を合併することがあるので注意が必要です。感染の予防にはワクチンが効果的です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		11	12	13	14	15		
インフルエンザ	岩手県	46.77	25.9	15.73	9.63	8	↘	
	全国	30.64	16.78	9.99	5.24	3.75		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0.03	0.05	0.03	→	
	全国	0.13	0.13	0.15	0.15	0.17		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.37	0.42	0.29	0.45	0.58	→	
	全国	1.33	1.07	1.03	0.96	1.23		
感染性胃腸炎	岩手県	4.89	3.32	2.61	1.97	2.21	→	
	全国	6.56	5.32	5.33	5.3	5.51		
水痘	岩手県	1.74	1.21	1	0.87	0.76	↘	
	全国	1.61	1.64	1.64	1.62	1.47		
手足口病	岩手県	0.39	0.42	0.16	0.08	0.05	→	
	全国	0.15	0.15	0.16	0.14	0.17		
伝染性紅斑	岩手県	0.42	0.18	0.26	0.29	0.32	→	
	全国	0.21	0.18	0.21	0.25	0.22		
突発性発疹	岩手県	0.5	0.37	0.5	0.45	0.68	→	
	全国	0.53	0.47	0.55	0.64	0.68		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.08	0	0	0.05	→	
	全国	0.05	0.04	0.08	0.09	0.13		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.26	0.45	0.37	0.74	0.95	↗	
	全国	0.96	0.86	1.09	1	1.03		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	0.67	0.33	0.58	0.25	→	
	全国	0.64	0.6	0.59	0.61	0.74		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	1	0	0	0	→	
	全国	48	63	60				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0	0		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0.15	0.15	0.15	0.25	→	
	全国	0.24	0.18	0.25	0.18	0.26		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘：多くの地区で警報値を超えています

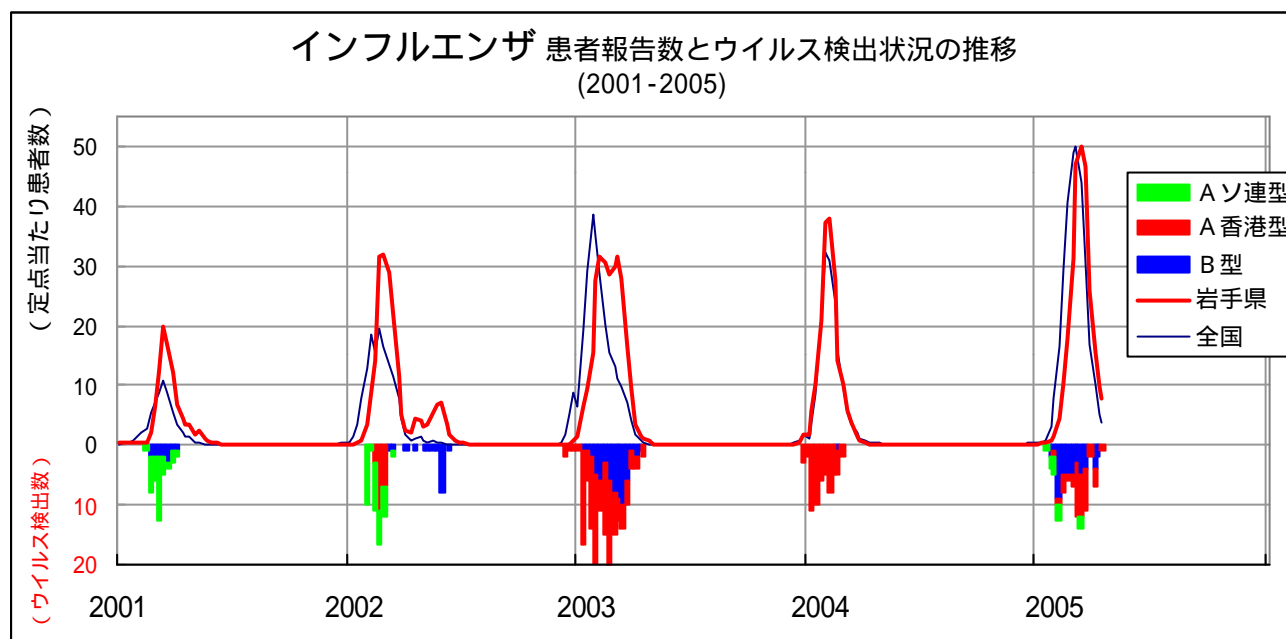
全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
分類	疾病名	(週)					累計	15	
		11	12	13	14	15		累計	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	11
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	7	182
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	17
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	2
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	9	197
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	1	9	195
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	17
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	1	0	0	2	3	93
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	41
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	23
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	5	292
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	15
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	24
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	5	141
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	20
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	25
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	19
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	28
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

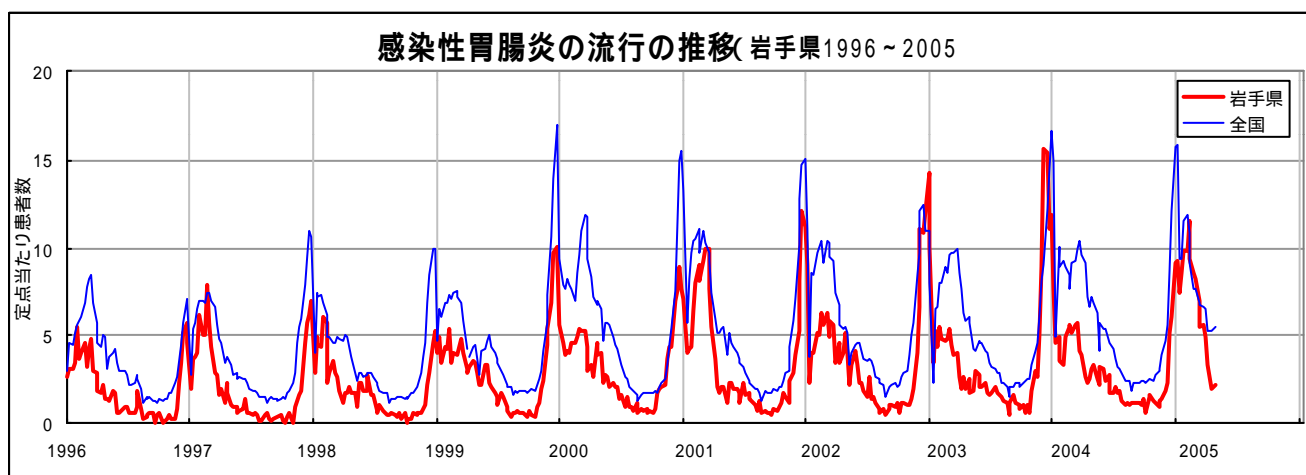
今シーズンのインフルエンザの流行は、第10週が流行のピークとなりました。全国的には、第9週がピークで第10週には減少しています。県環境保健研究センターの病原体検査では、Aソ連型、A香港型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが分離されており、これらのウイルスが同時に流行していることが示唆されています。



ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、感染症発生動向調査によると、今冬の患者発生状況はほぼ例年並みとなっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、症状が消失した後もウイルスが3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、特に二次感染に注意が必要です。また、患者の吐物にも多量のウイルスが含まれているので、二次感染を防ぐため、汚物の処理時には100倍程度に薄めた塩素系漂白剤で消毒するなどの処置が必要であり、感染の防止にはなによりも十分な手洗いが大切です。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを2例、B型インフルエンザウイルスを2例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からA群ロタウイルスを2例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス3型を3例分離検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭拭い液からコクサッキーA群ウイルス16型を1例分離検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の髄液と便からエコーウイルス30型を1例分離検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を2例分離検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・インフルエンザ流行はすっかり終わってしまったが、時に熱発例がみられる。
- ・インフルエンザは一部でまだくすぶっている。
- ・アデノウイルスはようやく終息したようだ。
- ・ロタウイルスは相変わらず流行している。

集団感染情報

・インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置

宮古市立亀岳小学校 1、2学年 4月17日のみ

盛岡市立見前中学校 学校閉鎖 4月20日5、6校時のみ

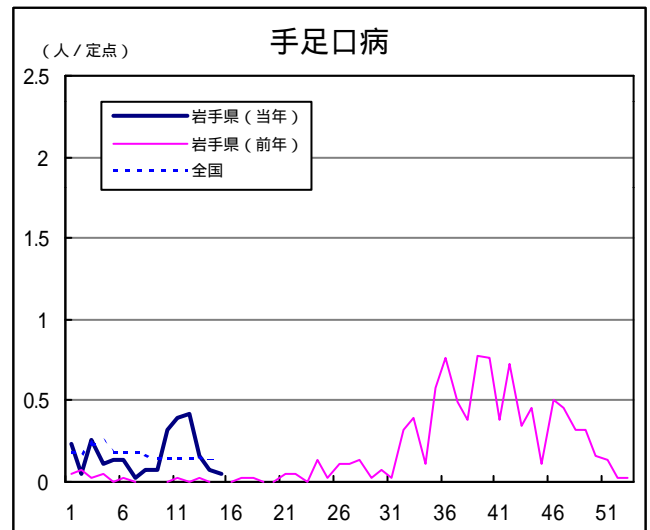
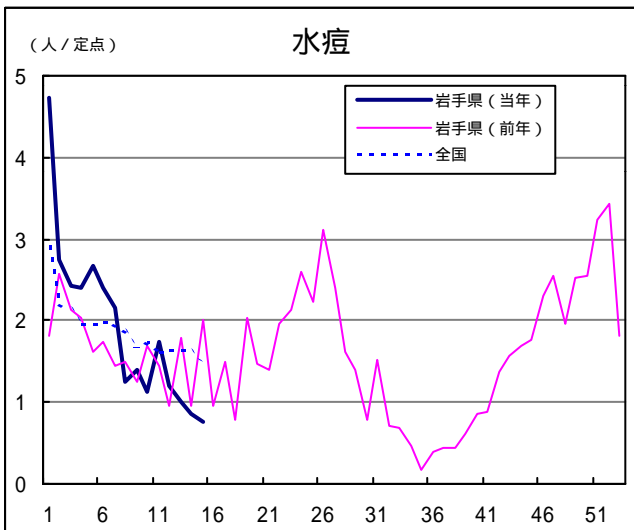
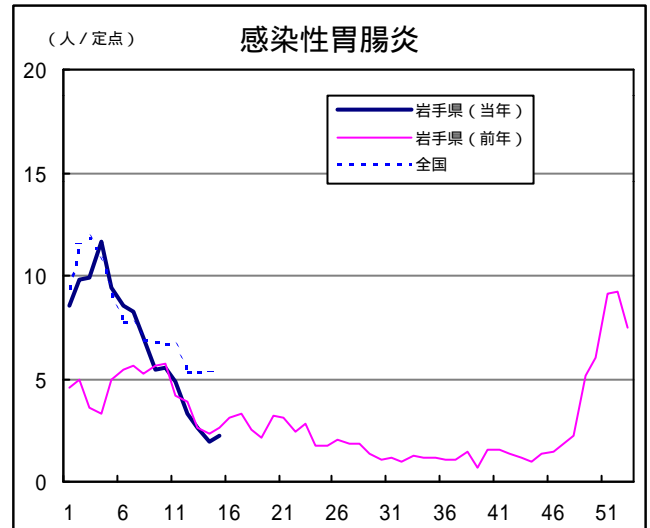
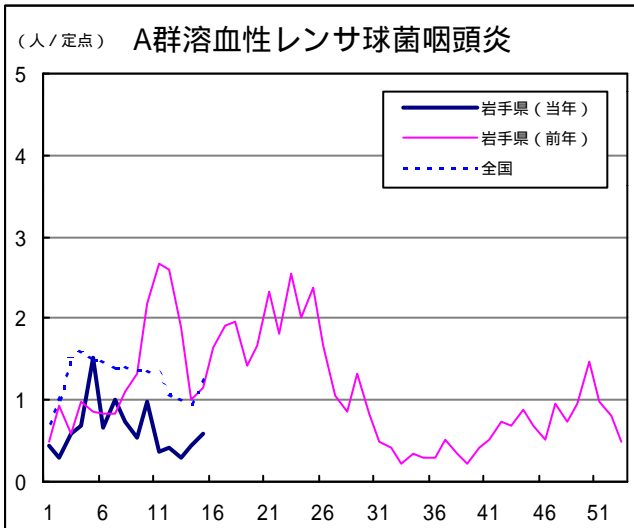
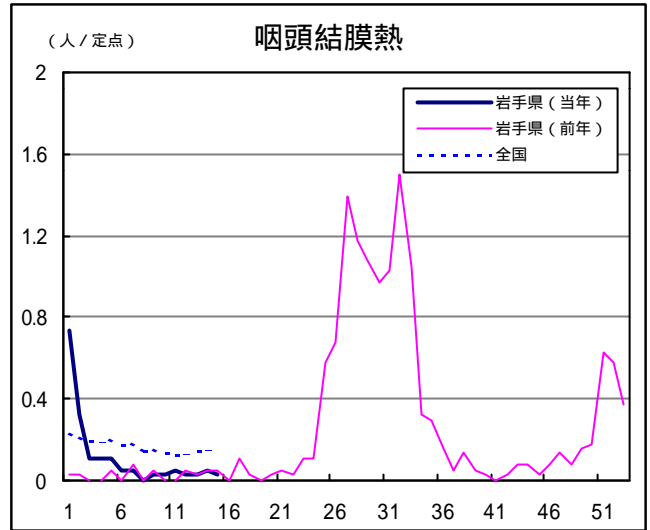
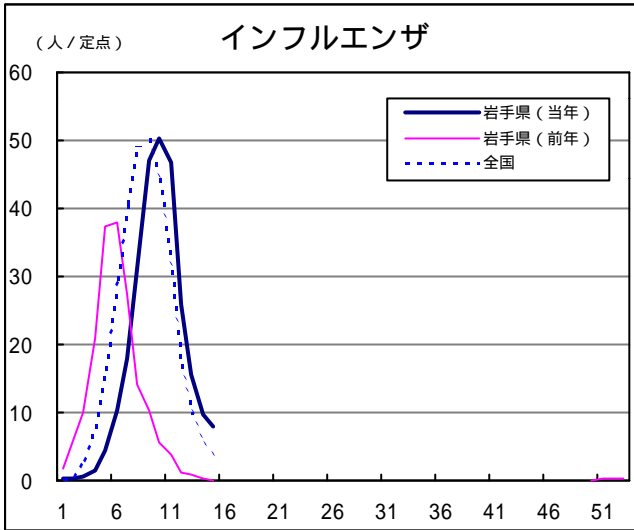
今シーズンの施設閉鎖措置数は4月21日までに延べ114施設となった。

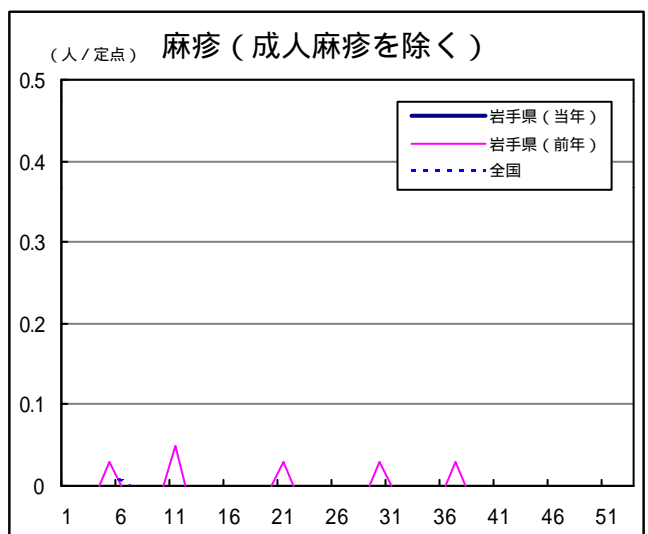
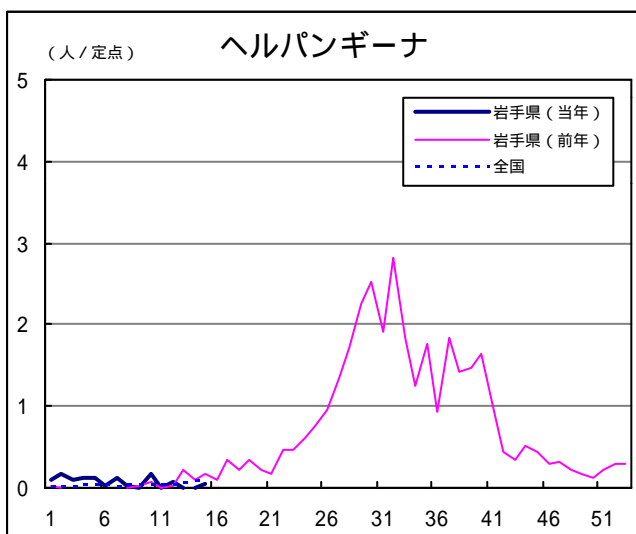
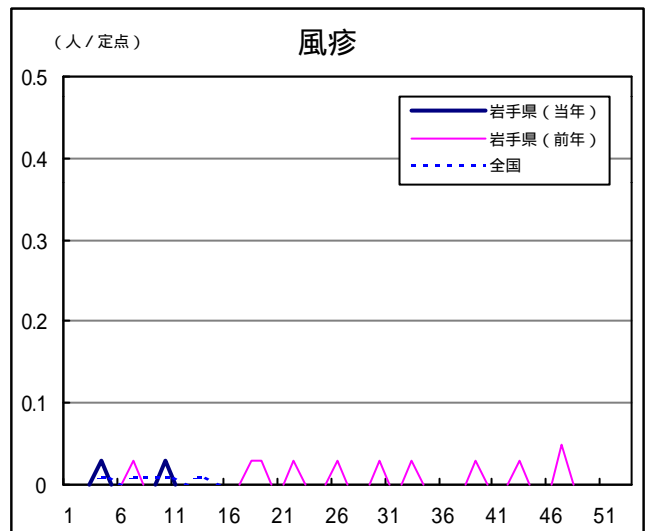
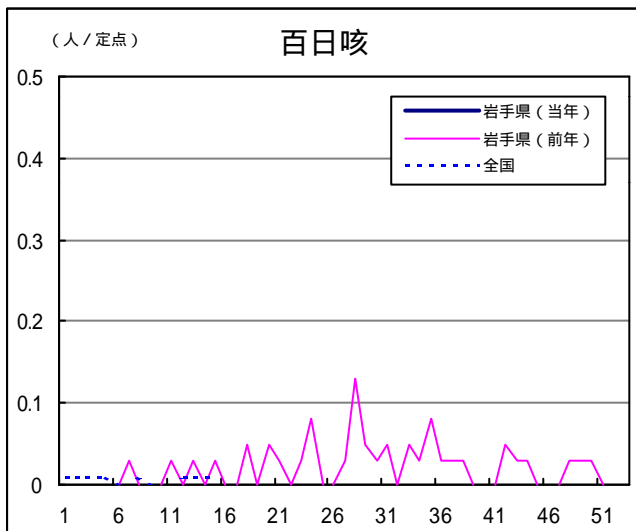
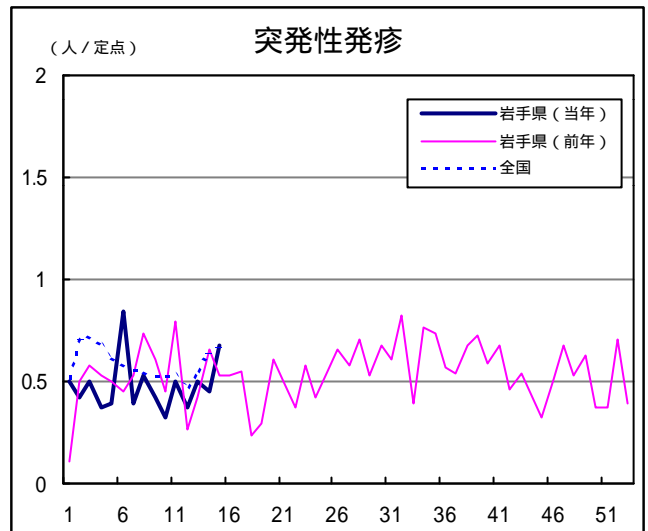
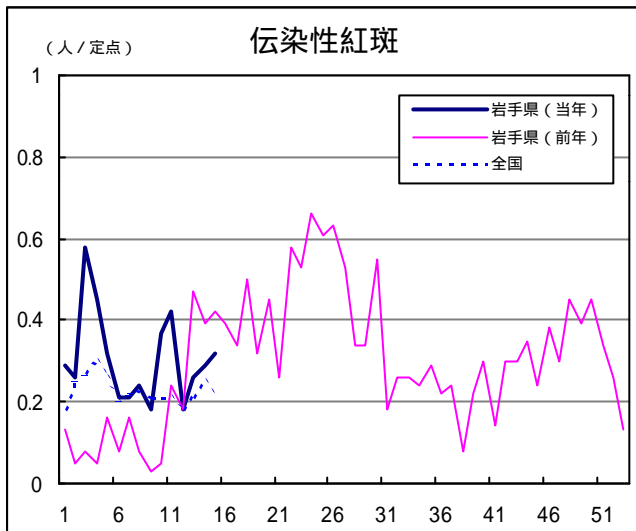
Q & A

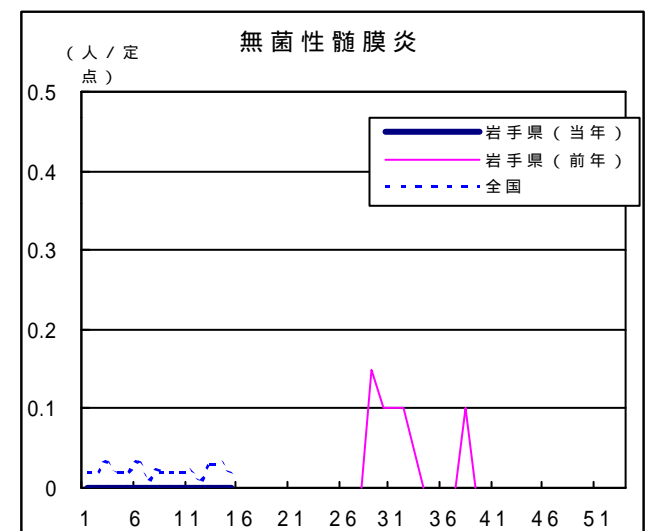
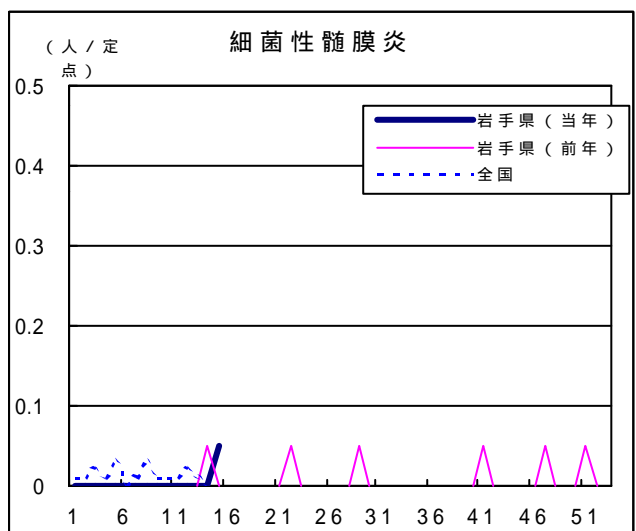
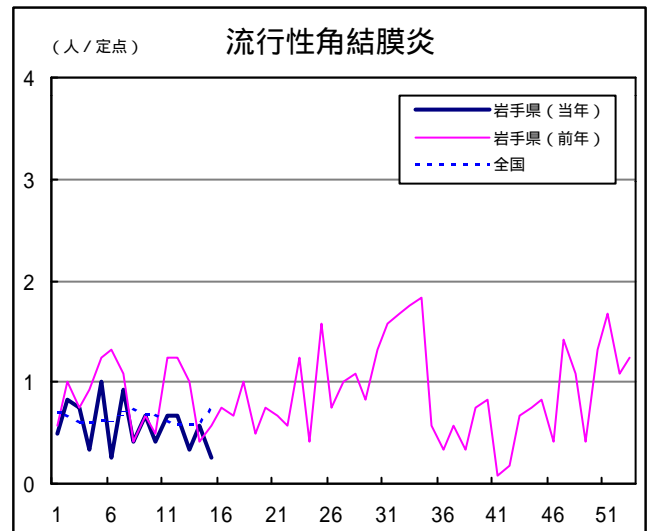
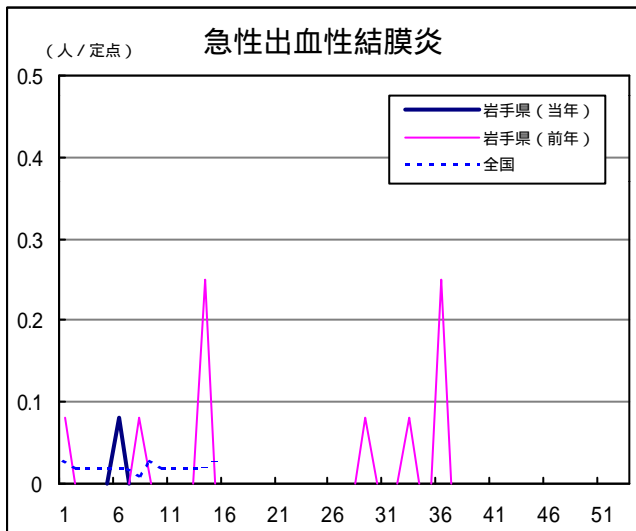
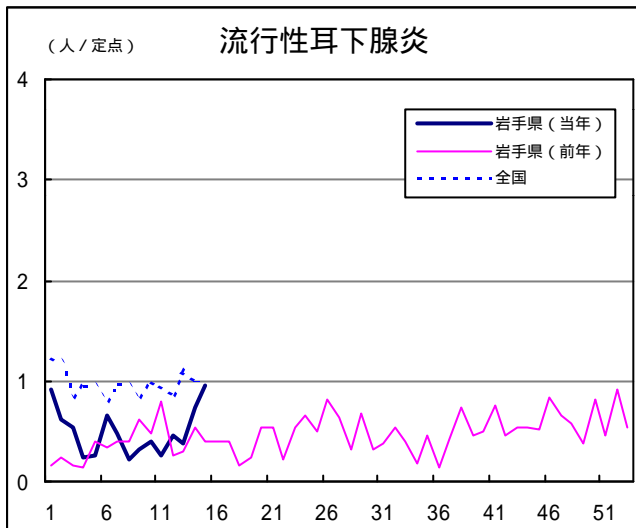
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

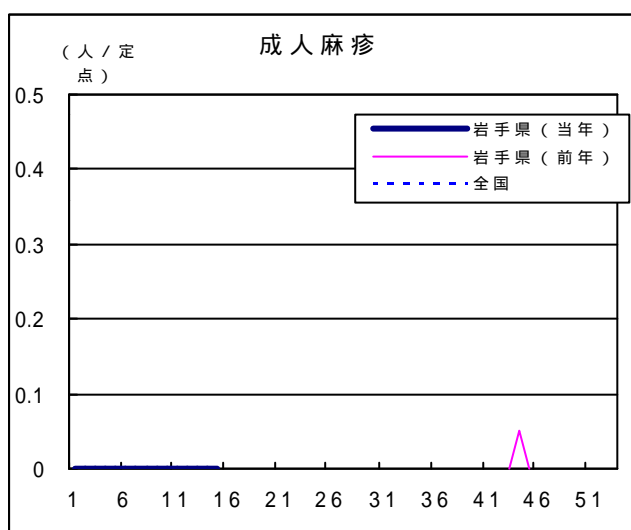
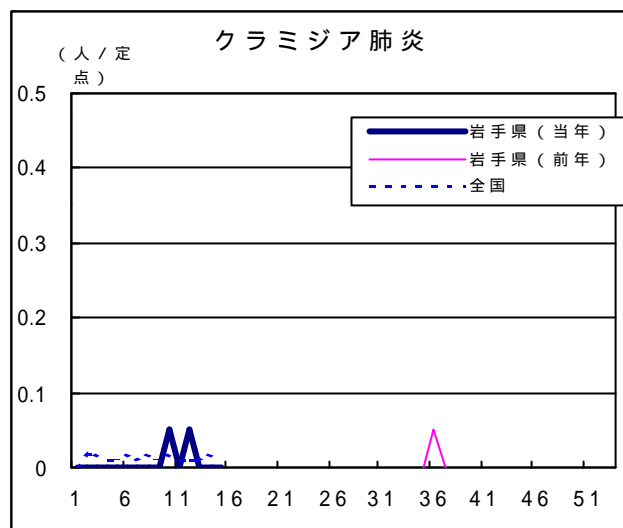
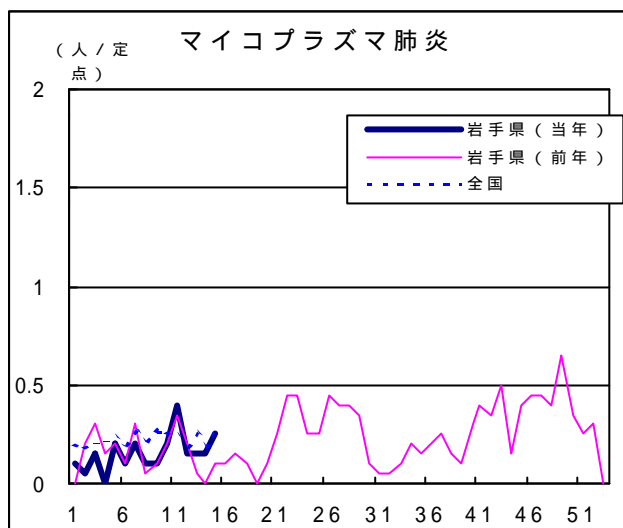
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第15週 平成17年4月22日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>